



岳南会ニュース

第25号

発行

平成27年1月1日

長野県野沢北高等学校

TEL 0267 (62) 0020

岳南会

TEL・FAX 0267 (63) 6664

印刷 株式会社印刷所



岳南会会長
高見澤俊雄
(51回)

信頼の絆を結びて

頌春

母校創立以来百十有余年、平成二十七年の新春を寿ぎながら、会員諸氏の日頃のご支援ご協力に感謝申し上げます。時流れ世移るも、浅間火の山も、滔々たる千曲川も、自若と



学校長
西沢 宏

不易と流行

謹賀新年

昨年四月より野沢北高等学校長を務めております。節目の記念会を催された50回・60回・80回卒業生をはじめ、同窓生の皆様からは学校に対して絶大なる御支援を賜り、心から感謝申し上げます。皆様の母校に対する熱い期待に、あらためて身の引き締まる思いであります。最近の教育に関する国の動向をみると、「グローバル人材」

している中、温暖化の故か、昨年二月、佐久高原は未曾有の大雪に見舞われました。この時、交通機関が途絶の中、駆けつけた生徒・教職員・PTA・岳南会員の手により、中込から佐久大橋を渡り野沢の母校に到る通学路の除雪がなされ、野沢北高校に繋がる人達の誠意溢れる尽力の絆に感銘しました。ここに母校の燦然たる未来を培う基盤があることを実感しました。

この一年、過般、岳南会としての対応の必要を申し上げました事項に進捗がありました。

(1)長野県高校第二次再編対応では、昨秋、県教委が「長野県高等学校将来像検討委員会」を立上げ、平成二十八年三月までに成案を得ることとなり、その動向を注視するつもりです。
(2)進路実現維持向上への対応（中高一貫教育導入の検討）

の育成が急務とされ、時代の変化に対応した改革が叫ばれています。高等学校でも、大学入試を念頭に置いた知識注入型の教育から脱却し、思考力・判断力・表現力の育成を重視することが求められ、センター試験にかわる大学入学希望者学力評価テストの導入も検討されています。また、少子化の進行に伴い、長野県では公立高校の統廃合を含む第二期再編計画を検討する時期を迎えています。時代の変化に対応した「改革」の荒波が学校現場にも押し寄せてきています。

変えていく必要があるもの』(流行)とともに『時代を超えて価値のあるもの』(不易)があるということをお忘れはならない。教育において『不易』の価値の実現を目指していく必要性は、今後ますます大きくなっていく」と、蕉風俳諧の理論に由来する語を用いて述べていました。

野沢北高校において、時代を超えて受け継いでいくべきものとは何なのか。時代の要請に因って変えていくべきものとは何なのか。同窓生の皆様からのご助言もいただきながら、本校の将来像を慎重に考えてまいりたい所存です。今後も引き続きの御支援並びに、御指導御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

平成26年総会報告

総会は、恒例の一月五日、佐久ランド・ホテルにて開催、冒頭挨拶では、高見澤俊雄会長より、岳南会員それぞれが自分なりの花を咲かせて活躍する状況に矜持を抱くことが語られ、続いて、青柳淳校長の母校近況報告では、特に、前年度国公立大学現役進学者実績で、県下で長野高校に次ぎ二番目となる好結果を残したことが話された。

議事に入り、報告では、渡辺善成事務長より、懸案の岳南会所有林の前会長から現会長への名義変更の完了が報告された。

議案では、まず、会務報告と計画案及び会計決算と予算案が上程され、総会に先立つ代議員会の議決に基づき、承認された。続いて、篠原秀郷委員長より岳南会による「母校の中高一貫教育導入への賛同と支援」の提案があり、満堂の承認を得た。

総会に続いての新春記念演奏会では、小澤英世桐朋学園大学音楽部講師（73回生・中込）により、『故郷とベートーヴェン』の演題のもと、『ソナタ第二十三番（熱情）』等のピアノ演奏の大熱演が聴衆の感動を呼び、大好評であった。

この後、母校吹奏楽班による演奏を聴き、参加者による「校歌」及び「学生歌」の大合唱がなされ、百五十余名参加で盛会の新年懇親会で交歓した。

岳南ネット

50余年の歲月

東京岳南会会長

井出 亜夫（58回）



1 時代背景

在学時期は1959年度～61年度。戦争を直接体験した世代ではありませんが、再生平和国家への歩みの中で少年時を迎えました。戦争で父親を失った友人、満州から引き揚げてきた友人を身近にもち、戦争は、昨日の恐るべき出来事として共通の認識がありました。一方、1956年「経済白書」は、戦後復興の時代は終わり、今後は近代化が経済社会の課題と宣言していました。

入学時に皇太子（現平成天皇）のご成婚があり、この慶事に合わせ佐久地方へも白黒テレビが普及しました。1960年安保条約を巡る政治運動が全国を席巻しましたが、池田内閣による所得倍増計画は、強兵に走り富国の実現が出来なかった日

トワーク

本経済の近代化を目指した一大国民運動の始まりでした。この年ローマオリンピックが開催されましたがイタリアは日本の先を行く先進国でした。ペギー葉山「南国土佐を後にして」、植木等「スーダラ節」が大ヒットしたので覚えています。

60周年記念として校歌が制定されました。今夏、高校野球で多くの校歌に接しましたが、草野新平作による校歌は内容豊かで格調高いものと思います。あれ以来、次の60周年が近づいていることに新たな感慨を覚えます。

2 授業 思い出の「コマ

①トマス・モア「ユートピア」
「あの大人しい羊たちが今では大変荒々しくなつて人間をも食い殺すのです。英国「囲い込み運動」による人間の疎外」（社会科学者K先生）

②永井荷風「花火」…「大逆事件」による幸徳秋水の護送車を見て、文豪エミール・ゾラは仏陸軍で起こったユダヤ人ドレフエースのスパイ冤罪事件の抗議の先頭に立つもそれが出来ない明治日本社会・知識人の現状を嘆いた」（日本史I先生）

③島崎藤村「ついに新しき詩歌の時は来たりぬ そは美しきあけぼののごとくなりき」に現れた明治の新思潮、（国語I先生）

④「メンデレーフ周期律表」の

学習による元素・原子の世界、（化学日先生）

⑤漢文「楚の共王が狩に出てその弓を失う、家来がこれを探そうとするが共王は、楚人が忘れ楚人がこれを使う、何ぞ探す必要があるのかと言った」。孔子がこれを聞き言つた「共王は人物が小さい、人が弓を忘れ、人がこれを使う、何で楚人に限るのか」儒教の世界に今日のグローバルリズムを発見します。（漢文I先生）

⑥オペラ「プッチーニ二作トスカ」全曲をステレオで聴く（音楽N先生）

⑦バートランド・ラッセル「原子力時代に生きる」（英語課外学習W先生）

3 大学時代から今日まで
大学時代は東京オリンピック、OECD加盟、行政官時代は、ケネディラウンドの妥結、大阪万博、オイルショックへの対応、先進国首脳会議への参加、経済大国への途等当時では想像さえ

しなかった展開・発展を示しました。

今日、日本は明治維新、戦後改革に続く第三の改革期を迎えています。次の展望を描くに至っていません。その方向は「グローバル社会における日本の役割」、新しい公共・市民社会の追求ということでしょう。

時の目（歴史的視点）、鳥の目（マクロの視点）、魚の目（ミクロの周辺視点）で観察し、行動していくことが求められています。

幕末のグローバルリスト佐久間象山は、「我、年二十余にして自分が一国（松代藩）に繋がりをあるを知る 三十以後天下（日本）に繋がりをあるを知る 四十以後五世界に繋がりをあるを知る」と述べ、また、旧中込学校太鼓楼天井には、世界各国の主要都市の方向が示され、山村の子弟に世界への目を向けさせていました。

岳南会戦没者等 慰霊祭

最終回といたします。

日時 六月七日（日）十一時
場所 前山 貞祥寺本堂

母校百周年を期に、過ぐる大戦にて貴い命を捧げられた母校の先輩達二三七柱の英霊を偲び、貞祥寺の母校を望む八方観の台上に立派な慰霊碑を建立、以来十五年、毎年六月の第一日曜日に貞祥寺に参集、遺徳を偲びながら追悼の会を開催して参りましたが、参加者の減少と、十五回を節目として追

悼会を休止することとなりました。（今後については岳南会にて検討いただけたらと思います）
改めて通知は致しませんが、ご参加頂き戦没者等のご冥福をお祈りしましょう。
尚、終了後有志にて会費制で直会をいたします。用意の都合上前もって岳南会事務局まで一報頂ければ幸いです。

岳南会戦没者等慰霊碑護持会
会長 井出公陽

支部だより

岸野支部

恒例の岸野支部総会は六月二十九日の夕刻から、岸野農村環境改善センターで開かれました。参加者は昨年度を数名上回る二十一名でしたが、九十名近い会員です。やや物足りなさはあるかもしれませんが、かつて学び舎を同じくした同士の、懐旧と交誼の場としての意義ある機会に、より多くの会員の参加を願いたいものです。

冒頭に、私から前年の支部総会以後に開かれた二回の岳南会代議員会と総会の概況を、報告書をもって伝えました。特に少子化の進行などによる状況の変化の中で、同窓会として協力することを目的とした「中高一貫教育研究委員会」の活動については、後の懇親会でも話題になり、会員の関心は高いことが感じ取れました。

続いて、来賓として出席いただいた本部事務局長の原先生から、学校側の充実した指導実情と、後輩たちの学業や部活動における頼もしい活躍の現況報告がありました。

懇親会は、最年長の三浦前佐久市長さんの乾杯の発声で開宴し、例年以上に長時間を、終始和やかな雰囲気の中に過ごすことができました。

なお支部総会は、岳南会本部

の監査も務める白井副支部長が、共に会員の奥さんと長年に亘って細やかな心遣いで設営をされており、その謝意を伝えつつの閉会となりました。

今後の支部総会についての課題は、やはり出席者増を図ることです。会員の高齢化が進む中で、これからは特に青壮年層の会員の参加が待たれます。他支部では、会員発表や母校への新入生を迎えるの激励など、会のもち方の工夫や、パソコンなどを利用した勧誘もされているようです。

当支部も何らかの方策を、とは思われますが、まずは支部内十二区の役員との連携を強めることで、その端緒としたいと考えているところです。

(支部長 柳澤徳明 (50回))

平成27年度 総会のご案内

期日 一月五日(月)

午後一時開会

場所 佐久グランドホテル二階

(佐久市中込二一九一六)

議事

会務・会計決算・予算他

記念行事

(第一部)

記念講演

(演題)「再生医療の目指すもの」

(講師) 井出千束(56年生)

(第二部)

野沢北高校吹奏楽班

野沢北高校吹奏楽班

○懇親会(午後四時三十分)

懇親会費 5000円

第79回卒業生 卒業30周年記念同窓会

私達第79回卒業生は、昨年11月9日(土)に佐久グランドホテルにおいて高見沢同窓会長・青柳前校長先生と4名の恩師(奥原先生・安藤先生・竹田先生・小宮山先生)をお迎えし、同窓生80名余りと共に盛大に卒業30周年記念同窓会を開催しました。記念式典においては寄贈品として仮設ステージ3台をお贈りすることが出来ました。同窓生の皆様には、改めて、この場をお借りしてこの記念事業に快くご協賛いただきましたことに感謝申し上げます。

実は、恥ずかしながら実行委員になるまでこうした記念事業が行われている事を知らなかった私です。単に「同窓生と会って酒が飲めるぞ!」といった程度で、初めて会議に参加した時は自分に実行委員長と言う大役が回ってくるとは考えもしていませんでしたが、巡り巡って実行委員長を仰せつかりました。しかし、「どうしようか?」と悩む事も無く委員の皆さんが昨今の交流ツールであるSNSを使ったりして、それぞれのお立場でテキパキと動いて大活躍してくださいましたので、式典までの実行委員の会議から記念パーティーの開きを迎えるまで無事に務めることが出来ました。改めて実行委員の皆様にも感謝申し上げます。

当日は、受付開始前から会場のあちらこちらで再会を懐かしむ声が上がっていました。式典

も滞りなく終えることが出来ましたし、パーティーに移ってから委員が考えたクラス対抗のクイズ合戦等もあり、本当に楽しい時間がアツと言う間に過ぎてしまいました。そんな中で30年経っていても会えばあの頃に帰ることが出来る同窓生の絆は強いものだと感じましたし、さらに2次会・3次会と盛り上がりつていたとも聞いております。私も3次会まで行っていました。私たですが……)

その後、この会をきっかけに年明け早々に同級会を開催したクラスもあり、平成26年夏までに何クラスかが同級会を行っています。今回の記念同窓会が、50周年に向けてだったり、それ以外でも何度となく同窓生と会えるように連絡を取りあっているためのきっかけになっていると感じますし、50歳を目の前にして同窓生が集う意義を感じました。

これからも同窓生の皆さんが

お元気で、益々のご活躍をされますことをお祈り申し上げますと共に50周年で再び会えることを期待しております。

(実行委員長 今牧健之)



東京岳南会 第54回総会ご案内

日時 平成27年6月6日(土)
午後2時～
会場 「アクア スクアガーデン トウキョウ 銀座」
東京都中央区京橋3-7-1
相互館110タワー81F
(地下鉄京橋駅直結)
Tel 03-3567-8886

第一部(午後2時～)
総会・ミニ講演会
第二部(午後3時～5時)
懇親会

会費 6,000円(懇親会費・通信費など)
2,000円(学生)
新会員(当年高校卒業生)はご招待

当番幹事 77回(昭和56年卒)
87回(平成 3年卒)
97回(平成13年卒)

連絡先 東京岳南会幹事長
小井戸大介03-5651-3300
090-5442-0633

あの頃の思い出

高校生活を振り返って



菊池 萌水（107回卒）

私の高校時代を振り返っていると、時間に追われた日々だったことを思い出します。

毎朝6時に起きて往復3時間の通学、放課後は直行で南牧村・野辺山のスケートリンクまで2時間かけて通わなければ練習が出来なかったため、掃除が終わったらダッシュで駅に向かい、練習後に帰宅するのは22時ころでした。

私は現在、早稲田大学で学んでいます。高校時代は大変だと思っていたことも、東京に来て実際に一人で生活してみると、比べ物にならない苦労はたくさんあります。その度に当時はたくさんの方々の支えのおかげでできていたんだと身に染みて感じています。また、大学では、ヨーロッパのまちづくりに興味を持ち、ゼミナールでEUの政治や環境政策などを学んでいます。部活動と勉強の両

方に取り組む大学生活でも時間に追われる生活を送っています。が、その中でも自分なりの工夫をして両立できるよう生活しています。

また、部活動のショートトラックでは、昨年2月にロシアで行われたソチオリンピックに出場し、オリンピックという舞台で世界最高峰のパフォーマンスを目の前で見て、身近に感じることができました。

実は私はオリンピックの1年前までナショナルチームの代表も当落線上にいる選手でした。

時には滑るたびに転んでしまい、滑ることが恐怖になっていた時期もありました。

それでも続けたかった理由は、自分を成長させてくれているスケートと、私のスケートを支えてくれている家族や、周りの方々へ結果で恩返しをしたいという思いがあったからです。一方で、もしソチ五輪に出ることが出来なかったら違う道で感謝の気持ちを伝えていこうと区切りをつけてシーズンに臨みました。

その状況の中でオリンピックに出るために、自分の持つ力を出し切れるための方法を考えた時、「長所を最大限に生かす」ことが成長の近道だと考えました。そして自分は何が好きで、どんなことが得意なのか改めて具体的に自己分析を行い長所の強化を重点に練習を行いました。選考会の時、最後まで不安要素は残っていません

が、ここまでやってきた自分の全力を出し切ってそれで辞めるのなら後悔はない。と思い臨むことができました。たとえスケートを辞め違う道を選択しなければいけないとしても、次はその道が自分の表現の場所に続く道なんだと思ったからです。

はるか遠くにある夢への計画を明確にできたときにそれは目標に変わるものだと思います。どんな選択でも目標があれば自分次第でいい方向へつなげることが出来るし、どんな道でも最後にはたどり着けると考えています。私の次の目標は、ピョンチャン五輪で金メダルを獲得することです。それが、自分への挑戦と支えてくださった方々への恩返しだと思うからです。この目標を達成するために、自分の決めた道に意志と責任を持ち、最後に自分自身が、自分を信じてスタートラインに立てるよう目標に向かって進んでいきたいです。

「自分らしく」



関西岳南会の荻原邦夫氏から多額の寄付

本年も昨年に引き続き、岳南会56回卒の荻原邦夫氏から同窓会と学校に総額百万円のご寄付をいただきました。学校としては、理数科の課題研究資金や大学訪問、天体観測等の活動費として活用させて頂く予定です。二年続けてのご寄付に心から感謝申し上げます。

荻原さんは、お住まいのある大阪府豊中市で防犯協議会支部長や自治会役員等多岐にわたるボランティア活動を続けられ、また、ガーデニングの指導者としても町づくりに大きく貢献されています。花いっぱいのご自宅の庭には、二ノ宮金次郎像があり、浅間山の火山岩を積み上げ、千曲川の石を敷きつめるなど、故郷へのかわらぬ思いと母校や後輩への熱い期待をお持ちであると強く感じました。

学校長 西沢 宏



事務局だより

7月15日から9月15日まで佐久市立近代美術館にて「山本文彦展」が開催されました。山本文彦さんは1945年、8歳の時に浅科に疎開され、本校を卒業（51回）して東京教育大学に入学されるまでの10年間は筑波大学教授を定年退官され（筑波大学名誉教授）、毎年佐久を訪れて絵画教室などを通じ、市民と親しく交流をされています。

今回は、はじめて佐久で開催される山本さんの大きな個人展であり、80点あまりの作品が展示されました。お話をうかがった学芸員さんによると「佐久市ゆかりの著名な画家でありながら佐久市立近代美術館も所蔵作品はないため、佐久のみならず山本さんの作品を生で感じてもらう貴重な機会」と位置づけ、特別企画展開催にいったんのことでした。今回展示された作品の中には野沢北高校時代の作品も何点もあり、特に雄大さと静寂を感じさせる浅間山を描いた数点は印象的でした。期間中はおよそ2,500人の方が訪れたそうです。「若いときから今日に至る作風の変遷が興味深かった」「作品の迫力に圧倒された」などの感想がよせられ、多くの反響があったとのことでした。

展覧会最終日も多くの観覧者が作品に見入っていました。

（事務局）



「六〇岳南会卒業50周年記念同窓会」盛大に開催される！ 中高一貫校の早期実現を目指して活動資金を贈呈！！

巷では、舟木一夫の「高校三年生」が大流行し、又、その年の10月には東京オリンピックの開催された、昭和39年。その3月に第60回生として卒業した我々総勢247名、60回生というところから「六〇（ロクマル）」

岳南会」と称して、数年に1回、同窓会を催してきた。本年晴れて、ここに50周年の記念同窓会を、去年の9月5日に同窓生78名、ご来賓として高見澤俊雄会長、西沢宏学校長、恩師の増田俊夫、北原良人両先生方



のご臨席を頂き開催した。すでに30名が物故会員となり時の流れが遙かなるのを感じたが、中には遠くはスリランカから、又、福岡からとはせ参じてくれた仲間もいた、感謝以外にもない。

一昨年より実行委員会（篠澤一平会長）を立ち上げ、記念事業等学校側と相談した結果、本年は、封筒を自動的に糊張りの出来る「自動封緘器」を母校に、「中高一貫校の早期実現」の為に活動・研究費として現金を岳南会本会に贈呈する事となった。（最終的には金70万円となった）

この「中高一貫校の実現」は、母校がこれからも、地域ナンバー1校として残るには絶対に必要不可欠なものと思っております。佐久地域から他地区の同様な学校や私学の一貫校に流出している現実を見るにつけ、

「卒業六十周年記念同期会」開催！

昭和29年春に卒業した同窓生でつくる「北高29年会」（50回生）は、10月10日に卒業60周年を記念し同期会をホテル一萬里で開催しました。メンバーは昭和10年、11年生まれの現在79歳と78歳。248人が卒業し、現在までに四分の一の62名が他界している。

来年80歳を迎えることから「年齢的にも、みんなで集まれるのも今回が最後」と、東京組と合同で幹事会をつくり県内外から59人が出席した。来賓に西沢宏学校長、高見沢俊雄岳南会長のご臨席をいただき、現在の生徒の様子や中高一貫校取り組みの現状等について説明を受けた後、岡村弘夫君の乾杯の発声で懇親会に入った。会場のあちこちで再開を喜び合う場面もみられ盛大な記念同期会を開催することができました。

我々29会メンバーは仲間意識が強く地元、東京それぞれに毎年同級会を開催し旧交を温めているが、特に昭和59年に卒業30周年記念事業として母校に体育館のステージ幕と記念文庫を寄附したことがきっかけになり、以後後輩たちが卒業の周年事業として母校に寄附を行う習慣が続いている。

30周年記念には139名の仲間が参加。新津靖先生の記念講演の中で「同期会とは生存確認のための会でもある。」と話されたことが印象に残りました。

40周年記念同期会は、平成6年に80名の参加のもと三浦大助佐久市長による「佐久地方の将来について」の記念講演をお願いしました。50周年記念事業は、平成16年に71名の仲間を集めて開催、母校へ図書

購入資金を寄付させていだいたことを思い出します。それにつけても、今回不参加の仲間の返事からは、体力の衰えを訴えるものが一番多く、連れ合いの病弱を理由に挙げる人もいて「生存確認会」の意味を実感しました。終わってみて感じたことは「今回区切りの会に参加できた仲間たちは最高の幸せ者だ」と思えた同期会でした。

（50回 幹事

油井英次



その思いは益々強くなつて来るのは、我々のみではない筈です。一刻も早い実現を願うものです。

（六〇岳南会幹事長 田原実夫

80回生卒業30周年記念事業

昭和59年3月に卒業した80期生が卒業30年を迎えるにあたり、記念品の母校への寄贈と記念パーティを11月22日（土）佐久グランドホテルにて開催しました。以下、実行委員長（長）と事務局（局）の対話をお送りいたします。

長「無事、パーティ終わりました。ご苦労様でした。パーティには97人の同窓生と恩師4名、学校長と岳南会長と、総勢103人も参加してくれました！」

局「母校へ贈呈する記念品のため、一口一万円での協賛金を募ったけど、総額で2000口も集まった！」

長「80期生の皆さん、ご協力ありがとうございました。ありがとうございました。」

局「パーティも楽しかった。垂れ幕や樽酒や花束、80期生のお店からの提供や格安で手配してもらえた。同窓生、社会で頑張っているなって感じたね。司会も80期生のツテで、FM佐久平からプロを派遣してもらったし、飛び入りで佐久の非公認ゆるキャラ・ハイぶりっ子ちゃんが登場したり。」

局「卒業アルバムのスライドショウも、盛り上がりがあった。昔の写真を見ていると、時の流れを感じるよね。パーティ最後の方では、校歌の大合唱。」

長「六川先生（現・仁科夫人）が北高勤務時代に、チェンバロで弾いた校歌の演奏の録音を伴奏に使ったね。」

局「岳南会館の展示ケースで、偶然カセットテープを発見したんだ。」
長「恩師の皆様もお元気だ。お話は相変わらずお上手だった。お目にかかれてうれしかった。それにしても、お年を取られたね。月日の流れを感じた。」
局「こっちも、社会に出て幾年。減価償却進んだしね。」
長「まだまだ壮年だよ。一番脂がのつる年頃だ。」
局「2次会は、委員長がマイク持つて取材してた。インタビュー内容は、出世頭を探せ。」
長「みんなが社会で活躍しているのを、実感したかったんだ。ところで実行委員会の仕事の一つは記念品の選定だけど、記念品は大時計になった。事務局からの提案だったね。」
局「わたくし、現在母校に勤めております。職員玄関に立ったとき『ここに大時計があれば貫禄あるな』と閃いたんだ。」
長「寄贈したのは、セイコーの電波式ホールクロック。最新の技術とマホガニーの重厚なボディ。母校を訪ねれば、大時計が迎え入れてくれる。これからの北高の歴史と共に、あの大時計は時を刻み続ける。80期生の代わりに、北高をずっと見守ってほしいね。」
以上、実行委員長と事務局長の対話をお送りしました。80期生一同、母校の益々のご発展を祈願しております。（80回幹事 田中照久

クラブ活動報告 (主な結果のみ)

運動班

〈平成25年度冬季〉

●スケート

県高校大会		
500m菊原魁人	12位	
500m上原大知	1位	
インターハイ		
500m菊原魁人	7位	
500m上原大知	14位	
国体少年		
500m菊原魁人	3位	

〈平成26年度夏季〉

●野球

選手権大会		
1回戦vs長野工 1対2	延長10回敗退	

●陸上

男子		
県大会		
110mH上原大知	15"42	1位
北信越大会		
110mH上原大知	15"24	準決

女子		
県大会		
走高跳山我杏寿実	1m71	1位
100m金田華実	12"35	4位
200m金田華実	25"81	
800m小宮山悠	2'16"78	3位
女子400R土屋、金田、関、山我	49"20	4位

北信越大会		
走高跳山我杏寿実	1m64	2位
100m金田華実	予12"59	
100m金田華実	12"27	8位
800m小宮山悠	2'17"40	8位
	予2'18"10準2'16"94	
女子400R関、金田、土屋、山我	予49"18	

インターハイ		
走高跳山我杏寿実	1m66	11位

●柔道

女子		
個人戦52kg級小林桃香	ベスト8	

●剣道

男子		
団体戦 予選リーグ	1勝2敗	敗退

●ソフトテニス

男子

団体戦		
1回戦vs松本工業0-3	敗退	

女子

団体戦		
1回戦vs伊那弥生ヶ丘 2-1	勝利	
2回戦vs豊科 1-2	敗退	

個人戦		
東山・中村	2回戦敗退	
小林・須田	優勝	

北信越大会		
個人戦ダブルス		
小林・須田	4回戦進出ベスト16	

インターハイ		
個人戦ダブルス		
小林・須田	2回戦野沢北0-4武蔵越生	

長崎国体		
個人戦ダブルス		
小林・須田		

●テニス

女子

団体戦		
1回戦vs松本第一	2-1	敗退

個人戦シングルス		
磯貝	1回戦敗退	

個人戦ダブルス		
磯貝・小林	1回戦敗退	

●バスケット

男子

1回戦vs伊那北	80-60	勝利
2回戦vs長野吉田	61-68	敗退

女子

1回戦vs豊科	45-64	敗退
---------	-------	----

●バレーボール

男子

1回戦vs松本蟻ヶ崎	1-2	敗退
------------	-----	----

女子

1回戦vs木曾青峰	0-2	敗退
-----------	-----	----

●ハンドボール

男子

1回戦vs木曾青峰	21-15	勝利
準々決勝vs坂城	13-24	敗退ベスト8

女子

準々決勝vs松本美須ヶ丘	33-8	勝利
準決勝vs屋代	16-24	敗退
三位決定戦vs長野南	23-24	敗退 四位

●卓球

男子

団体戦		
1回戦vs長野	3-1	勝利
2回戦vs松本工業	1-3	敗退

個人戦ダブルス		
市川・西村	3回戦敗退	

女子

団体戦		
1回戦vs下諏訪向陽	3-0	勝利
2回戦vs松商学園	0-3	敗退

個人戦ダブルス		
依田・小林	2回戦敗退	
三石・新津	1回戦敗退	

個人戦シングルス		
新津雅美	1回戦敗退	
小林涼香	1回戦敗退	

●バドミントン

男子

団体戦		
1回戦vs長野	2回戦敗退	

個人戦シングルス		
井出晶	2回戦負敗退	

個人戦ダブルス		
井出・内堀組	1回戦負	

●新体操

個人

北原 葵		
フープ 16位	ボール 14位	総合 16位
鷹野 由季		
フープ 15位	ボール 13位	総合 14位

●弓道

県大会

団体戦		
予選	27中(40射)決勝トーナメントへ	
1回戦vs上田	13-10	勝利
準決勝vs駒ヶ根工業	13-11	勝利
決勝vs長野日大	8-13	負け第2位

個人戦		
小林諒太	3中(8射)	予選敗退

北信越大会

団体戦		
-----	--	--

母校近況



予選 22中(40射) 予選敗退

●水泳

男子

県大会		
磯田涼太100m平泳ぎ	優勝(大会新)	
200m平泳ぎ	優勝(大会新)	

400mリレー	8位	
---------	----	--

800mリレー	8位	
---------	----	--

400mメドレーリレー	8位	
-------------	----	--

以上北信越大会へ		
----------	--	--

他種目決勝進出ならず		
------------	--	--

北信越大会		
-------	--	--

磯田涼太100m平泳ぎ		
-------------	--	--

全国大会標準記録突破	全国大会へ	
------------	-------	--

200m平泳ぎ		
---------	--	--

決勝2位	全国大会へ	
------	-------	--

800mリレー	棄権	
---------	----	--

400mリレー	予選突破ならず	
---------	---------	--

400mメドレーリレー	予選突破ならず	
-------------	---------	--

インターハイ		
--------	--	--

磯田涼太200m平泳ぎ	17位	
-------------	-----	--

磯田涼太100m平泳ぎ	14位	
-------------	-----	--

女子

2名4種目参加するも決勝進出ならず		
-------------------	--	--

●空手道

女子

個人形	勝俣啓香	1回戦敗退
個人組手	勝俣啓香	2回戦敗退

●サッカー

男子

1回戦vs駒ヶ根工業	2-1	勝利
2回戦vs松商学園	0-5	敗退

●山岳

女子

高校総体第43回登山大会	4位	
6月5日~7日		

文化班

●将棋

男子

県大会		
-----	--	--

第44回長野県高等学校将棋選手権大会		
--------------------	--	--

男子団体		
------	--	--

決勝戦:伊那北 1対2	準優勝	
-------------	-----	--

個人戦A級		
-------	--	--

田嶋弘章	決勝トーナメント2回戦敗退	
------	---------------	--

個人戦B級		
-------	--	--

箕輪由規	2位	
------	----	--

女子

県大会		
-----	--	--

第44回長野県高等学校将棋選手権大会		
--------------------	--	--

女子団体	優勝	
------	----	--

女子個人	森美月	5位
------	-----	----

全国大会		
------	--	--

第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門		
---------------------	--	--

女子団体戦予選リーグ3勝1敗	予選敗退	
----------------	------	--

●英語

2014年度		
--------	--	--

プレゼンテーションコンテスト参加		
------------------	--	--

●軽音楽

2014年度長野県高等学校		
---------------	--	--

軽音楽系クラブ合同演奏会		
--------------	--	--

優秀賞(4位)		
---------	--	--

3年香坂・高見沢・森泉・山品		
----------------	--	--

審査員賞	3年柳沢・神野・西澤	
------	------------	--

岳南会中高一貫教育研究委員会
経過報告

ここに、平成26年8月22日付信濃毎日新聞朝刊の記事があります。見出しは『1年生チーム全国へ』。8月上旬、20校が参加して開催された「第2回中学生サイエンスグランプリ」で、開校したばかりの諏訪清陵高付属中学校チームが優勝し、12月の「科学の甲子園ジュニア全国大会」に県代表として出場することになった、というものです。そこに、注目すべき生徒たちの言葉があります。筆記では「得意分野ごとに分担して回答。それでも分からない問題は、皆で話し合った。小学校までの知識も生かして、何とか取り組めた」。また、実技では「皆でアイデアを出し合って乗り切った」。主体的に学び、深い思考力と協調性を培う、中高一貫教育の理念が端的に表現されていると言えます。

さて、去る10月、長野県高等学校将来像検討委員会が発足し、いよいよ「第2期長野県高等学校再編計画」の策定がその緒に就きます。魅力ある高校づくりや、都市部普通高校の統合も検討されるに違いありません。この間、本委員会では今年度これまでに6

回（第22回から第27回）の会議を開催し、緊急性が高まりつつある「地域への啓発と組織化の方法」について議論を深めてきました。特に、第25回（7月12日）の4市町村教育長、教育委員長（岳南会OB）の皆さんとの懇談でいただいたご意見は、小中学校と高校の双方を視野に、佐久全域の教育を考える上で大きな示唆に富むものであり、本委員会が今後進める地域連携の具体化の好例となりました。

母校は既に平成26年2月、併設型中高一貫校の実現を目指す旨、決定しています。中高一貫校への移行を推進する意思決定をした同窓会の組織として、本委員会は教育改革に向けた母校の活動を今後も積極的に支援していきます。（中高一貫教育研究委員長 篠原 秀郷 65回）

（中高一貫教育研究委員長 篠原 秀郷 65回）



平成26年 会務報告(総会1月5日以降、事務局把握分)

1月5日(土)	第1回三役会・第1回代議員会 平成26年岳南会総会・佐久グランドホテル・参加者約170名・記念新春演奏会 桐朋学園大学音楽学部講師 小澤 英世氏(73回)《故郷とベートーベン》	17日(土)	関西岳南会開催(岳南会・鈴蘭会共同開催) 大阪弥生会館・出席者21名 会長出席 役員改選 関口会長退任し、新会長に井出千束氏(56回)就任	11月22日(土)	図書費として10万円寄贈 岳南80回卒「卒業30周年記念同窓会」佐久グランドホテルにて開催 会長・校長出席 ホールクロック寄贈
13日(月)	菊池萌水さん(ソチオリンピック、スケート)壮行会 会長・校長出席	28日(木)	第2回三役会・学校所有林視察	12月4日(木)	岳南会会計監査
15日(火)	長野支部総会開催・出席者50名 会長・校長・事務局出席	6月1日(日)	第14回戦没者慰霊追悼式・会長・3名の副会長・校長参列	7日(日)	野沢支部代表者会・事務局出席
26日(日)	中込支部総会開催・出席者23名 事務局出席	7日(土)	東京岳南会開催・日本教育会館で実施・会長、校長、卒業生、事務局出席・会員80名出席	20日(土)	第26回中高一貫教育研究会開催
31日(金)	第22回中高一貫教育研究会開催	14日(土)	小諸支部総会開催・出席者25名・会長・校長・事務局出席		荻原邦夫氏(岳南56回・野沢・関西岳南会) 5月100万円寄贈。 (母校へ50万、岳南会へ50万)
3月1日(土)	野沢北高校卒業式が挙行され会長・副会長3名が出席	20日(金)	前山支部総会開催・参加者15名・事務局出席		
15日(土)	臼田支部総会開催・出席者27名 会長・事務局出席	22日(日)	校井支部総会開催・出席者25名・会長・校長・事務局出席		
18日(火)	第23回中高一貫教育研究会開催	29日(日)	岸野支部総会開催・参加者15名・事務局出席		
26日(水)	野沢北高教職員送別会。会長・副会長3名が出席	7月12日(土)	第25回中高一貫教育研究会開催		
29日(土)	八千穂支部総会開催・出席者10名・会長・校長出席	8月9日(土)~	15日(金) 岳南会員40名及び在校生出品・参観者約400名 臨時三役会		
30日(日)	小海支部総会開催・出席者10名・会長・事務局出席	12日(火)	第2回代議員会		
4月4日(金)	野沢北高入学式・会長・副会長3名が出席	23日(土)	岳南60回生卒業50周年祝賀会、出席者80名 会長・校長出席		
16日(水)	野沢北高教職員歓迎会開催・会長・副会長3名出席	9月5日(金)	自動封かん機、中高一貫教育支援資金として70万円寄贈		
5月9日(金)	第24回中高一貫教育研究会開催	10月4日(土)	第26回中高一貫教育研究会開催		
10日(土)	佐久町支部総会開催・出席者30名・会長・教頭出席	10日(金)	岳南50回卒卒業60周年祝賀会 出席者60名 会長・校長出席		

平成26年 岳南会会計決算書

平成25.12.1~26.11.30

収入総額 9,829,945円 支出総額 6,715,024円 差引残高 3,114,921円

【収入の部】			単位:円	【支出の部】			単位:円
項 目	収入 済 額	備 考		項 目	支出 済 額	備 考	
入 会 金	1,464,000	6,000円×244人(平成26年4月入学生)		会 報 発 行 費	1,594,604	会報印刷費、封筒印刷費、振込用紙印刷費、郵送料等	
卒業生終身会費	1,165,000	5,000円×233人(平成26年3月卒業生)		総 会 費	921,076	会場費、講師謝礼、懇親会費等	
総 会 会 費	575,000	5,000円×115人		会 議 費	170,539	役員会、代議員会、会計監査等	
代議員会等会費	8,000	三役会(2,000円×4人)		支 部 会 議 費	416,090	祝儀、旅費等	
岳南会館維持管理費	610,000	2,500円×244人(平成26年4月入学生)		中高一貫教育研究会費	173,690	会議、視察等	
進路指導支援費	610,000	2,500円×244人(平成26年4月入学生)		慶 弔 費	433,289	祝儀、餞別、香典、弔電、卒業証書筒、新入生校章バッジ等	
岳南会活動協力金	1,798,980	1,000円×1,973口 1,569人 (振込手数料 174,020円)		財 産 管 理 費	104,877	固定資産税、危険倒木伐採作業代、山林管理費等	
繰 越 金	3,597,463			クラブ等後援費	550,774	全国大会補助、垂れ幕、広告料等	
雑 収 入	1,502	預金利子、名簿等		進路指導補助費	800,000		
合 計	9,829,945			岳南塾補助費	500,000		
平成26年12月4日				会 館 維 持 費	674,557	会館電気料、会館電話料、会館消耗品費、会館修理費等	
会計監査 仁科英太郎 ㊞				事 務 費	170,038	事務用品、文書、封筒、貸金、切手等等	
篠澤 一平 ㊞				予 備 費	205,490	教室用緑化木、卒業生冬季オリンピック出場祝儀等	
白井 正幸 ㊞				合 計	6,715,024		

紙面の都合で、平成27年岳南会会計予算案は割愛させていただきました。

進路指導室から

平成二十五年度末における大学等合格者数は表の通りです。

平均点が大きく下がった前回のセンター試験に比べ、センター試験の平均点はやや上がったものの、旧教育課程最後の入試となった今回は、全国的には無理をせず慎重に受験校を選ぶ傾向が見られました。本校では現役合格に拘りながらも、安易

に妥協せず初心を貫く指導にも重きを置き、受験を通して人間的にも成長してほしいと考えております。

◎卒業生の概況

現役生の国公立大合格者数は八八で、卒業生数に対する割合は三七・八%となりました。さらに信州大学医学科に三名が合格したほか、旧帝大合格者が四名と健闘しました。既卒生では東京大・京都大・一橋大・国立

大医学科等に合格し、三年連続で東大合格者を出すことができました。

全国的には資格取得系学部への人気が高く、本校でもその傾向が見られ、医療系（医・薬・保健）に進学した生徒の割合は全進学者の十七%を超えます。また、教員養成系学部への進学者が多く、合格率が高いのも本校の特長の一つです。

外国語系が挙げられます。◎キャリア教育と同窓会 キャリア教育の一環として、一年次に大学インターンシップ（信州大・群馬大）、伝統のある推援会、キャリア講演会等の企画を同窓会のお力をお借りしながら行っております。

としてお招きしています。こうした繋がりが生徒においては大変よい刺激や参考になっています。同窓生の皆様の、母校への温かいご理解とご援助に感謝いたすとともに、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

大学合格状況 (2014.5.1 現在)

卒業生数		国公立大学	準大学	私立大学	外国大学	大学計	公立短大	私立短大	短大計	各種／専修	総計
233	現	88	0	226	0	314	8	4	12	11	337
	浪	29	0	130	0	159	0	1	1	0	160
	計	117	0	356	0	473	8	5	13	11	497

国立大学合格者数

大学名	現	過	計
旭川医科		1	1
帯広畜産	1		1
弘前		1	1
岩手	1		1
東北	2	1	3
山形		1	1
福島	2		2
筑波	1	1	2
宇都宮	1		1
群馬	4	1	5
埼玉	1		1
千葉	3	1	4
お茶の水女子	1		1
電気通信	2		2
東京		1	1
東京学芸	1		1
東京農工	1		1
一橋		1	1
横浜国立		1	1
上越教育	3		3
新潟	7	1	8
富山	5	3	8
金沢	3	2	5
山梨	2	1	3
信州	27	3	30
(教育)	7	2	9
(経済)	5		5
(理)	2		2
(医)	5	1	6
(工)	4		4
(農)	2		2
(繊維)	2		2
名古屋	1		1
京都		1	1
九州	1		1
大分	2		2
琉球		1	1

公立大学／準大学合格者数

大学名	現	過	計
会津		1	1
群馬県女子	2		2
高崎経済	5	2	7
首都大東京		2	2
横浜国立	2		2
富山県立	1		1
石川県立	1		1
福井県立		1	1
都留文科大学	3		3
山梨県立	2		2
長野県看護		1	1

公立短大合格者数

大学名	現	過	計
川崎市看護	1		1
長野県短	5		5
静岡県短	2		2

私立大学合格者数

大学名	現	過	計
東北福祉	2		2

東北芸術工科	2		2
国際医療福祉	1		1
白鷺	2		2
流通経済	1		1
群馬バース	1		1
上武	1		1
高崎健康福祉	3	1	4
東京福祉	3	2	5
十文字学園女子	1		1
城西	2	1	3
女子栄養	2		2
駿河台		2	2
東都医療	1		1
獨協	1	2	3
日本医療科学	1		1
文教	7	4	11
神田外語	1		1
淑徳		1	1
城西国際	1		1
千葉科学	2		2
千葉工業	1		1
千洋女子	1		1
青山学院		3	3
亜細亜		1	1
桜美林	3		3
大妻女子	4		4
北里	2	1	3
杏林	4	1	5
慶応義塾	2	3	5
工学院	2		2
國學院	3	1	4
国士舘	2		2
駒澤	15	1	16
駒沢女子	1		1
芝浦工業	3	5	8
順天堂	3		3
女子美術	1		1
成蹊		1	1
成城		4	4
専修	8	2	10
創価	2		2
大東文化	4		4
玉川		3	3
多摩美術	1		1
中央	3	8	11
帝京	4	1	5
東海	2	2	4
東京医科		2	2
東京家政	1		1
東京経済		1	1
東京工科大学	3	2	5
東京女子	2		2
東京女子医科		1	1
東京女子体育	2		2
東京造形	1		1
東京電機	3	1	4
東京都市	2		2
東京農業	5		5
東京理	3	4	7
東京薬		2	2

東邦		2	2
東京未来	1		1
東洋	3	5	8
二松学舎	2		2
日本	8	5	13
日本医療科学	1		1
日本女子	3	2	5
日本女子体育	2	1	3
文化学園	1		1
法政	6	6	12
武蔵	2		2
武蔵野		1	1
武蔵野美術	1		1
明		2	2
明治	5	6	11
明治学	3	1	4
立教	2	4	6
立正	2		2
早稲田	4	11	15
麻布		1	1
神奈川	4	1	5
神奈川工	1	2	3
鎌倉女子		1	1
関東学	4	1	5
相模女子	1		1
新潟医療福祉		1	1
新潟工		1	1
金沢工業	1	1	2
山梨学院	1		1
佐久	3	3	6
清泉女学	1		1
長野	2		2
岐阜医療科学		1	1
朝日	1		1
岐阜聖徳学		1	1
常葉	2	2	4
愛知学		1	1
中京	2		2
日本福祉	2		2
藤田保健衛生	1		1
名城		1	1
京都女子	2		2
京都橘	2		2
同志社	3		3
同志社女子	1		1
立命館	11	1	12
龍谷	1		1
関西	2	1	3
近畿	3		3
関西学院		1	1
福山	1		1

私立短大合格者数

青山学院女子短	1		1
立教女学院短		1	1
鶴見短	1		1
日本大短	1		1
上田女子短	1		1

専門学校合格者数

医療系	9		9
その他	2		2

編集後記



近年、学校教育の現場ではキャリア教育の重要性が言われています。本校でも数年前から1年生を対象に「キャリア講演会」を行っており、各界で活躍する同窓生のみなさんに講演をお願いしています。生徒たちにとって自分の将来を考える良い機会となり、進路指導の効果を上げています。本年度も10月に実施し、多くの生徒が自分と社会の関わりを考えることができ、お忙しい中を快く引き受けていただいた先輩方にお礼を申し上げます。

引き続き、岳南会のみなさんに野沢北高校の教育活動にご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

(K)